

種名と配列に関わる解説等（紐形動物門）

○目録の解説

紐形動物門においては、科以上の上位分類群を独立した見出し行として記入した。また、それら上位分類群すべてに対し、学名とその命名者・年を記入した。

分類体系は Strand *et al.* (2019) に従い、学名とその命名者・年は Kajihara (2007, 2017) およびインターネット上のデータベースである WoRMS Editorial Board (2019) に準拠した。

岡山県野生生物目録 2009 に掲載された紐形動物門は 1 種（タテジマヒモムシ）のみであった。本目録では新たに 15 種が追加され、現時点の種数合計は 16 となった。新規追加種は下記文献のほか、協力員の確認記録 1 件（ヤジロベヒモムシ：笠岡，2011.09.11，多留聖典）による。

紐形動物門の目録作成は協力員の田中正敦（鹿児島大学大学院理工学研究科）・多留聖典（東邦大学東京湾生態系研究センター）が担当し、本解説は田中正敦が作成した。

○主な参考文献

- 江田伸司・坂本明弘, 1988. 久須美鼻（岡山県倉敷市）の海岸動物. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (3): 41–47.
- 稲葉明彦, 1988. 増補改訂 瀬戸内海の生物相 II. 広島大学理学部附属向島臨海実験所, 広島.
- Kajihara, H., 2007. A taxonomic catalogue of Japanese nemerteans. *Zoological Science*, **24**: 287–326.
- Kajihara, H., 2017. Species diversity of Japanese ribbon worms (Nemertea). In Motokawa, M. & Kajihara, H. (eds), *Species Diversity of Animals in Japan*, 419–444. Springer Japan, Tokyo.
- 環境庁自然保護局 (編), 1998. 第 5 回自然環境保全基礎調査 海辺調査 データ編. 環境庁自然保護局, 東京.
- 勝谷邦夫・村田 守, 1976. ゴカイを捕食するヒモムシについて(予報). 昭和 50 年度岡山県水産試験場事業報告書, (1975): 320.
- 岡山大学理学部附属玉野臨海実験所, 1978. 備讃瀬戸海域の生物相と主要実験動物の研究. In 国立大学臨海臨湖実験所長会議 (編), *臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和 50–52 年度文部省科学研究費補助金総合研究 A 研究成果報告)*, 158–170. 国立大学臨海臨湖実験所長会議, 福岡.
- 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 刊行年不詳. *海産動物実習手引 第 4 版*. 岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所, 牛窓.
- Strand, M., Norenburg, J., Alfaya, J.E., Fernández-Álvarez, F.Á., Andersson, H.S., Andrade, S.C.S., Bartolomaeus, T., Beckers, P., Bigatti, G., Cherneva, I., Chernyshev, A., Chung, B.M., Döhren, J. von, Giribet, G., Gonzalez-Cueto, J., Herrera-Bachiller, A., Hiebert, T., Hookabe, N., Junoy, J., Kajihara, H., Krämer, D., Kvist, S., Magarlamov, T.Y., Maslakova, S., Mendes, C.B., Okazaki, R., Sagorny, C., Schwartz, M., Sun, S.-C., Sundberg, P., Turbeville, J.M. & Xu, C.-M., 2019. Nemertean taxonomy — implementing changes in the higher ranks, dismissing Anopla and Enopla. *Zoologica Scripta*, **48**: 118–119.
- 著者不詳, 1975. 岡山大学玉野臨海実験所. In 全国臨海臨湖実験所長会議 (編), *臨海・臨湖実験所周辺の生物相および主要実験生物に関する研究 (昭和 49 年度科学研究費総合研究 B 研究成果)*, 59–63. 全国臨海臨湖実験所長会議, 福岡.
- WoRMS Editorial Board, 2019. *World Register of Marine Species*. <http://www.marinespecies.org> (2019 年 2 月 22 日閲覧)